

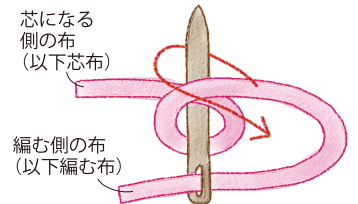
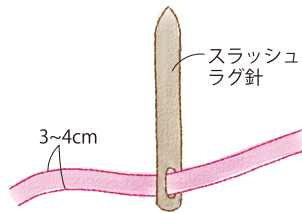
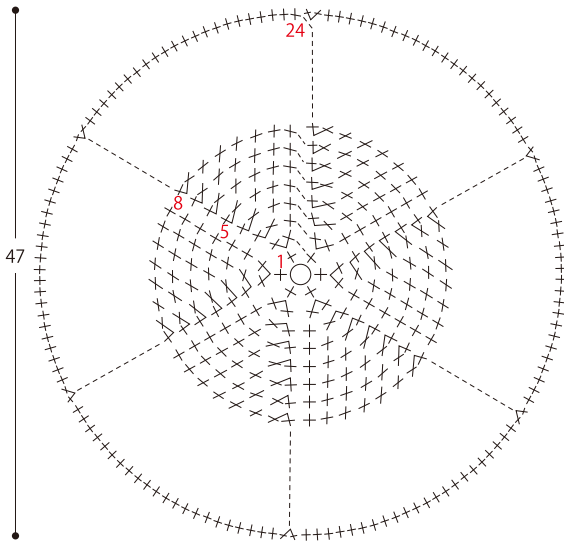
針休めの針仕事

裂布で作るカラフルマット

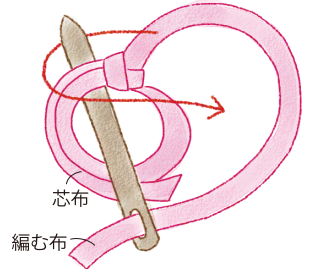
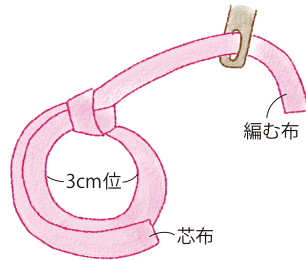
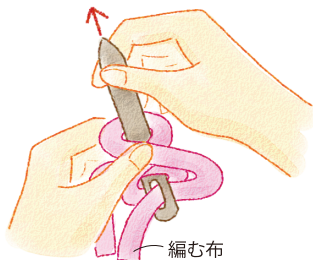
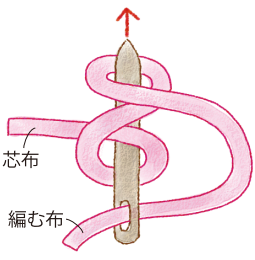
櫻井紀子

●用意するもの● (直径47cmの基本の作品)

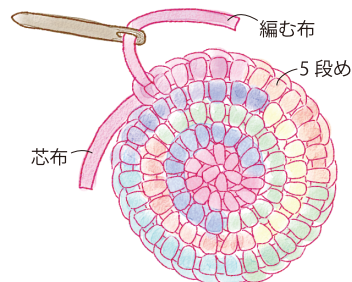
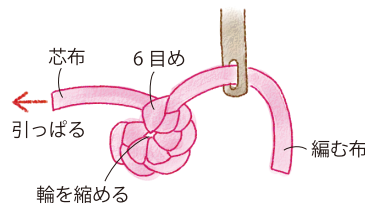
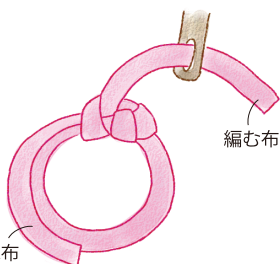
- ・本体…木綿プリント各種適宜
- ・スラッシュラグ針
- スラッシュラグ針が手に入らない場合は、プラスチックのうちの柄や歯ブラシの柄、アイスの棒など幅1cmくらいの堅くて平らな棒などで代用してみましょう。



- 幅3~4cmにカットした、または裂いた布をスラッシュラグ針に通します。布の長さの1/3に針を通し、長い方を編む布、短い方を芯布にします。
- 作り目の輪を作り、針を中ほどまで通し、指で押さえておきます。左側の布が芯布になり、右側の布が編み進んでいく布になります。

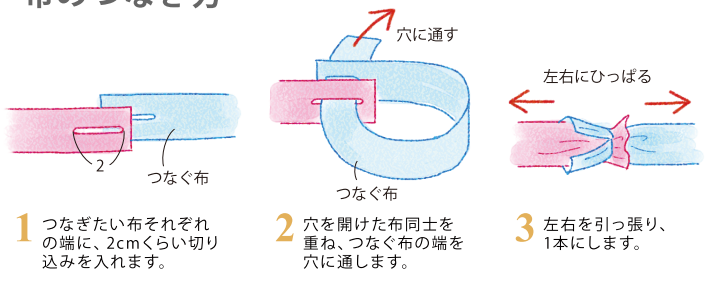


- 編む布側のひもを向こう側から手前に掛けます。
- 芯布が左側にあるのを確認して交差したひも部分を抑えてそっと針を引き抜きます。
- 1目ができました。強く引くと輪が閉まりすぎて小さくなってしまいますのでゆるめにします。
- 同様に2目めを編みます。中心の輪に芯布を重ね、針を1目めの左側に置いてくぐらせ、編む布を向こう側から手前に掛けて針を引き抜きます。



- 2目めができました。編む布、芯布ともに短くなってきたらつなぎながら編みます(下図参照)。
- 6目で1段めが編み上がります。芯布を引っ張って輪を引き締めます。
- 1段目6目、2段目12目、3段目18目と、1段ごとに6目ずつ均等に増し目をしながら24段まで編み進めます。

布のつなぎ方



刺し終わり

